

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和7年2月25日
中国運輸局

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県離島航路確保維持協議会	備後商船株式会社	常石～尾道 航路	永年の課題である「運航ダイヤ改定」に関して、歌港棧橋の改修がなされ旅客船の歌棧橋使用が可能になり、ダイヤ改定に向けて尾道市主導による「航路改善協議会」を開催して頂き、フェリーと旅客船を効率的に運航するダイヤ改定を行う。	A	B	ダイヤ改定に向けて、利用者(百島島民)、中国運輸局、広島県、尾道市、その他関係者が参集した「航路改善協議会」で現行のサービス基準の見直しを行い、利用実績に即した効率的な運航ダイヤ改定を目指す。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き費用の抑制など、航路の維持に努めることを期待します。 	
広島県離島航路確保維持協議会	大崎上島町	白水～契島 航路	人事異動及び新規採用により、人件費の抑制はできたが、定期検査や修繕にかかる費用及び備船料が増加となった。結果、収支の改善には至らなかった。	A	B	島内人口が減少傾向にあるため、引き続き経費削減や、利用実態に即した運航形態へと見直しの検討を続ける。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き費用の抑制など、航路の維持に努めることを期待します。 	
広島県離島航路確保維持協議会	齋島汽船株式会社	齋島～久比 航路	齋島住民の高齢化等により、旅客運賃等の営業収益は前年度に比べて減少した。 費用については、エンジン補修を行ったため、昨年度と比較して修繕費が増加した。 経営改善に向けた本航路の減便・抜港については、国への手続きを行い、令和6年10月から実施した。	A	B	人口減少等により収入の増加は見込めない中で、船舶の老朽化等により費用が増加していくことが予想される。 こうした中で、第三セクター等経営健全化方針(令和2年11月作成)に基づき、今後も安定的に齋島航路の運航を継続するため、経営改善に向けて、将来的な三角航路との統合に向けて検討を進めていく。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者数の減少は予測されるので、自治体などの関係者とも連携し、安全安心の航路の維持に努めることを期待します。 	

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県離島航路確保維持協議会	齋島汽船株式会社	三角～久比 航路	三角島住民の高齢化等により、旅客運賃・自動車航送運賃等の運航収益は前年度に比べて減少した。 費用については、タラップ補修や船体塗装を行ったため、昨年度と比較して修繕費が大きく増加した。 経営改善に向けた本航路の減便については、国への手続きを行い、令和6年10月から実施した。	A	B	人口減少等により収入の増加は見込めない中で、船舶の老朽化等により費用が増加していくことが予想される。 こうした中で、第三セクター等経営健全化方針(令和2年11月作成)に基づき、今後も安定的に三角航路の運航を継続するため、経営改善に向けて、将来的な齋島航路との統合に向けて検討を進めていく。	【評価できる点】 ・目標として設定している運航回数を概ね達成しており、安定した運航を確保できていることについて、評価します。 ・利用者や関係者と調整し、経営改善に向けた航路の見直しを行ったことは評価します。 【期待する取組】 ・今後も利用者数の減少は予測されるので、自治体など関係者とも連携し、安全安心の航路の維持に努めることを期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	岩国柱島海運株式会社	岩国～柱島 航路	今年は退職金の支払いがなかったため、船員費は減少した。 燃料潤滑油費は軽油単価の上昇した為増加している。 市内小学校の柱島自然教室は開催されたが、日帰りで開催となり、代船での渡航となった。 乗船人員は2年連続で若干増加した。 また、地域おこし協力隊作成(H28)の「柱島群島みどころマップ」を市役所や会社窓口で引き続き配布するとともに、Facebook等による情報発信も引き続き行い、利用促進に努めた。	A	A	引き続き経費節減に努める。 島の過疎・高齢化により島民は減少しているが、感染症対策を講じながら、島のイベント・レジャー資源等を活かし利用促進を図る。 また、「柱島群島みどころマップ」の配布、Facebook等を活用して情報発信を継続する。 なお、年間利用者数の目標値については、過疎・高齢化(高齢化率79.6%)の状況を踏まえ、より適切な数値を検討する。	【評価できる点】 ・島民が減少している中、利用者数が増加していることについて、評価します。 【期待する取組】 ・情報発信を行うことで、レジャー客や観光客を取り込むなど利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	周防大島町	樽見～日前 航路	観光利用者の増加に取り組み、乗客にとって利用しやすい環境も整え、安心して利用できる航路を目指した。 しかし、昨年度と比べ利用者数は減少したが、不定期便の利用については増加となった	A	B	町のホームページ等を活用した情報発信を行う。また、日常の整備点検を確実に実施することにより、修繕費の削減に努め、乗客が安心して利用できる航路を目指す。	【評価できる点】 ・日々の整備点検を、確実に行うことで修繕費用を抑制できたことについて、評価します。 【期待する取組】 ・情報発信を行うことで、レジャー客や観光客を取り込むなど利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	周防大島町	伊保田～情島 航路	釣り客を中心とした観光客の集客に努めた結果、定期的に釣り客が訪れ、利用客数は増加となった。	A	A	島民の高齢化が進み、人口が減少傾向にある中、釣り客を中心とした観光客の集客に努めていく。1日4便での運航を継続し、航路利用者の利便性に配慮しながら効率的な運航を行い、燃料費等の費用抑制に努める。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島民が減少している中、利用者数が増加したことは評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> レジャー客や観光客を取り込むなど利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。 	
山口県生活交通確保維持改善協議会	周防大島町	久賀～前島 航路	町ホームページや観光協会と連携し、観光客の誘致を図ったところ、利用者数は昨年度と比べ減少しているものの、スナメリとの遭遇を目的とした貸切運航は増加するなど、観光客の需要が安定的にあった。	A	B	今後も引き続き町のホームページ等を活用して、観光協会と連携し、スナメリとの遭遇を目的とした観光客数のさらなる増加に努める。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源を活用し、運航収入を増加させたことについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源を活かした情報発信を行うことで、観光利用の拡大を図るなど、航路の維持・活性化に努めることを期待します。 	
山口県生活交通確保維持改善協議会	平郡航路有限会社	平郡～柳井 航路	平郡航路公式SNSを開設し航路の運航状況と島の情報発信を継続的に行っている。	A	A	島の過疎・高齢化に伴い、利用者が減少する中で航路を維持するために引き続き島の宣伝を行い、観光客、釣り客の誘致を図るとともに、地元関係者と協力し、島民関係者の利用促進に努める。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島民が減少している中、利用者数を概ね維持していることについて、評価します。 SNSを活用し継続的に運航情報を発信していることについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島の情報を発信することで、レジャー客や観光客を取り込むなど利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。 	
山口県生活交通確保維持改善協議会	熊南総合事務組合	馬島～麻里布・佐合島～佐賀 航路	学校行事や島でのイベント等への協力を行い、利用者の増加を計った。そのため貸切運航は前年度より増加したが、全体の旅客輸送量については前年度より減少し、収益についても昨年度より減額となった。 運航費用については、経費削減などに努め、若干の減額となった。	A	A	高齢・過疎化によって島民の利用者は減少しており、今後も学校行事や島でのイベント等の働きかけを行い、島への移住促進や交流人口の増加などにも協力を行うなど、利用者の増加を図る。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島民が減少している中、利用者数を概ね維持していることや、イベント等による貸切運航が増加したことについて、評価します。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事や島でのイベント等の働きかけといたった利用者数の増加にかかる取り組みを行うなど、航路の維持・活性化に努めることを期待します。 	

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
山口県生活交通確保維持改善協議会	牛島海運有限会社	室積～牛島 航路 【離島航路構造改革補助】 現在運航している「うしま丸」は船齢19年を経過して老朽化が進行していることから、様々な不具合による修繕費が年々増大し、運航に必要となる船員の確保が年々困難となっているため、令和6年10月就航を目前に20トン未満に小型化する新船建造を行う。	荒天による欠航は発生しているが、この他の理由での欠航は無く運航を行った。 島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターや光市地域公共交通協議会等との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図った。 合わせて、経営健全化の観点から新船就航に向けた取組みも進めた。	A	B	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターなど市関係機関との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図る。 また、経営健全化の観点から運賃改定を行い、新船の就航により運航経費の削減に努める。 【離島航路構造改革補助】 引き続き、JRJT及び造船事業者と連絡を密にし、新船の導入において、設計費、建造費など多額の資金調達が必要となるため、JRJTが実施する船舶共有建造制度を活用して、新船の就航を目指す。	【評価できる点】 以下の取り組みについて、評価します。 ・SNSを活用し、航路や島の観光やレジャーに関する情報発信を行い利用の促進を図ったこと。 ・イベントを開催するなど、利用者数の維持に努めていること。 ・経営健全化の観点から 運航経費の抑制に努めたこと。 【期待する取組】 以下のとおり、航路の維持・活性化に努めることを期待します。 ・引き続き、SNS等を活用した航路や島の情報発信や、イベントの開催などの利用者の増加に向けた取り組みを行うこと。 ・新船の就航に伴う、運航費用の抑制や利用者利便向上。 【離島航路構造改革補助】 ・計画どおり新船建造に着手できていることについて評価します。旅客の利便性向上など、安定的な運航確保に期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	有限会社野島海運	野島～三田尻 航路	クルーズ事業の実施(1回)と市の離島活性化事業への協力により、旅客船の利用者増とそれに伴い交流人口の増加へも繋げることができた。 自社のホームページでは運航・欠航情報を随時掲載した。	A	B	過疎・高齢化の進行など離島の特殊性を踏まえながら、民間企業・市・航路事業者等が連携し、クルーズ事業の実施やイベント開催等により、交流人口の増加を目指す。 また、SNSやホームページ等の活用により、広く情報発信をすることで、周知及び利用実績の拡大に努める。	【評価できる点】 ・ホームページなどを活用した島内の情報発信による利用促進に向けた取り組みや、クルーズ事業を実施したことについて、評価します。 【期待する取組】 ・情報発信を行いレジャー客や観光客を取り込むなど利用者の拡大を図り、航路の維持・活性化に努めることを期待します。

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
山口県生活交通確保維持改善協議会	萩海運株式会社	見島～萩 航路 【離島航路構造改革補助】 将来にわたって航路を維持し、安全で安定的な運航の確保を図り、今度、ますます島民の高齢化が進展することが推測される中、高齢者等の利用に配慮し、乗降設備や客室など船舶施設のバリアフリー化を進めると共に、効率化船舶(相島新船)の代替建造を行う。	日々の点検の実施による修繕費の抑制や運航時のエンジン出力を抑えることで燃料費の削減に努めたが、原油価格・物価高騰の影響により、昨年度よりも燃料費が増加となった。 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら運航を実施した結果、旅客数全体は、対前年度比1.86%減、旅客運賃収入は、対前年度比2.23%増となった。 各島におけるイベントは一部ではあるが開催され、交流人口の回復及び航路利用者の回復に向けた取り組みに協力を行った。	A	A	原油価格・物価高騰の影響により、燃料費や修繕費の単価増加が予測されるが、引き続き可能な限り燃料費や修繕費の経費削減に努める。また、引き続き日々の点検を実施し、修繕費の抑制に努める。 また、県や市のFacebookをはじめとするSNSを活用し、離島航路の情報発信に努めるとともに、今後、離島振興に資する取り組みが実施される際にはイベント等の実施団体とともに交流人口の回復および航路利用者の回復に向けて取り組んでいく。 【離島航路構造改革補助】 バリアフリー化により、乗降時の安全性や利便性が向上することで、島民や観光客等の利用者の増加を図り、安定的な航路経営を行う。また、引き続き、経済的な運航に取組む。	【評価できる点】 以下の取り組みについて、評価します。 ・島民が減少している中、利用者数を概ね維持していること。 ・ホームページやSNSを活用し、利用促進を図ったこと。 ・点検の実施やエンジン出力の調整など、費用の抑制に取り組んでいること。 【期待する取組】 以下のとおり、航路の維持・活性化に努めることに期待します。 ・引き続き、費用の抑制に努めること。 ・ホームページやSNSを活用した情報発信による、利用者数の増加に向けた取り組み。 ・新船の導入による、運航費用の抑制や利用者利便向上。 【離島航路構造改革補助】 ・計画どおり新船建造・就航に至ったことについて評価します。旅客の利便性向上など、安定的な運航確保に期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	大津島巡航株式会社	大津島～徳山 航路	島内のイベントが通常通り運営され、島外からの観光や学習等を目的とした乗船客数もコロナ禍以前の状態に戻りつつあり、運航収益については改善した。 経費削減に努めたものの、燃料潤滑油費や船員費等の影響により運航費用が増加した。 ホームページやXにより情報発信に努めた。	A	A	島民の減少等により、旅客運送は今後も減少傾向が見込まれる状況であるが、航路の維持に向け、引き続き船費等の経費削減に努め、経営改善に取り組む。 また、関係機関と連携し、新船建造や効率的な運航体制の構築に向けた検討を行う。 併せてホームページやX等により積極的な情報発信に努める。	【評価できる点】 以下の取り組みについて、評価します。 ・島民が減少している中、利用者数が増加したこと。 ・ホームページやSNSを活用し、利用促進を図ったこと。 ・航路改善計画に基づき、効率的な運航体制の検討・実施を行ったこと。 【期待する取組】 島内イベント等が再開していることから、引き続き情報発信など、利用者数の増加に向けた取り組みを行うことで、航路の維持・活性化に努めることに期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和7年2月25日
中国運輸局

評価対象事業名：離島航路構造改革事業に係る調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針、 又は事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	<p>岩国柱島海運株式会社 (岩国～柱島航路) 岩国市柱島航路航路改善協議会</p> <p>【事業内容】 令和9年3月の新船就航をめざす。</p> <p>【結果概要】 岩国～柱島航路改善計画を策定した。 造船事業者等と連絡を密にし、航路特性や利用ニーズを踏まえ、要求性能を満たすよう建造を行う。</p>	A	<p>現在運航している「すいせい」は船齢14年を経過して老朽化が進行していることから、安全な航行の確保をはじめ、省エネ化による燃料費の削減、維持修繕費の低減などを図るため、新船の導入を行う。</p>	<p>【評価できる点】 ・全ての島民及び利用者へのアンケートを実施することで、地域住民等の意見を把握し、航路改善計画に反映したことは評価します。</p> <p>【期待する取組】 ・計画に基づき船舶の更新などを行うことで利用者利便の向上や航路の維持・活性化に努めることを期待します。</p>	

<p>山口県生活交通確保維持改善協議会</p>	<p>平郡航路有限会社 (平郡～柳井航路) 柳井市離島航路確保維持改善協議会</p> <p>【事業内容】 新船の導入において、設計費、建造費など多額の資金調達が必要となるため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)が実施する船舶共有建造制度を活用して令和9年12月の新船就航をめざす。</p> <p>【結果概要】 平郡～柳井航路改善計画を策定した。 JRTT及び造船事業者と連絡を密にし、航路特性や利用ニーズを踏まえ、要求性能を満たすよう建造を行う。</p>	<p>A</p>	<p>現在運航しているカーフェリー「へぐり」は船齢25年を経過して老朽化が進行していることから、安全な航行の確保を行うとともに、省エネ化による燃料費の削減、維持修繕費の低減など運航コストの改善を図るため、新船の導入を行う。</p>	<p>【評価できる点】 ・住民及び利用者へのアンケートを実施することで、地域住民等の意見を把握し、航路改善計画に反映したことは評価します。</p> <p>【期待する取組】 ・計画に基づき船舶の更新などを行うことで利用者利便の向上や航路の維持・活性化に努めることを期待します。</p>	
<p>山口県生活交通確保維持改善協議会</p>	<p>大津島巡航株式会社 (大津島～徳山航路) 大津島～徳山航路改善協議会</p> <p>【事業内容】 新船の導入において、設計費、建造費など多額の資金調達が必要となるため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)が実施する船舶共有建造制度を活用して令和8年度中の新船就航をめざす。</p> <p>【結果概要】 大津島～徳山航路改善計画を策定した。 JRTT及び造船事業者と連絡を密にし、航路特性や利用ニーズを踏まえ、要求性能を満たすよう建造を行う。</p>	<p>A</p>	<p>現在運航している「フェリー新大津島」は船齢20年を経過して老朽化が進行していることから、安全な運航の確保を行うとともに、小型化・省エネ化による燃料費の削減、維持修繕費の低減など運航コストの改善を図るため、新船の導入を行う。</p>	<p>【評価できる点】 ・島民及び島外利用者へのアンケート実施や、島内関連事業者等に対してヒアリングを行うことで、地域住民等の意見を把握し、航路改善計画に反映したことは評価します。</p> <p>【期待する取組】 ・計画に基づき新船建造などを進めることで利用者利便の向上や航路の維持・活性化に努めることを期待します。</p>	